【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	血管外漏出ガイドライン
対象	抗癌剤投与される患者
介入	PORT
対照	PICC

エビデンスの強さはRCTは"強（A）"からスタート、観察研究は"弱（C）"からスタート
＊各ドメインは"高（-2）"、"中/疑い（-1）"、"低（0）"の3段階
＊＊上昇要因は"高（＋2）"、"中（＋1）"、"低（0）"の3 段階。
＊＊＊エビデンスの強さは"強（A）"、"中（B）"、"弱（C）"、"非常に弱（D）"の4段階
＊＊＊＊ 重要性はアウトカムの重要性（1～9）

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）							
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均値差・標準化平均値	標準偏差

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率）対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊＊重要性	コメント
カテーテル関連有害事象	RCT/4	0	0	0	0	0		390	80	21	388	45	12	RR	0.57	0.41-0.80	強(A)	9	
血栓症	RCT/4	0	0	0	0	0		380	39	10	382	12	3	RR	0.32	0.11-0.91	強(A)	9	
感染症	RCT/4	0	0	0	0	0		388	33	9	382	15	4	RR	0.47	0.27-0.83	強(A)	9	
Device Failure	RCT/1	0	-1	-1	-2	0		201	45	22	198	26	13	RR	0.59	0.38-0.91	弱(C)	9	

コメント（該当するセルに記入）